

12月8日公開

第8回 広島原爆写真などを「世界の記憶」に申請

11月28日、政府は次の2つをユネスコ（国連教育科学文化機関）の**世界の記憶**に推薦することを発表しました。

広島原爆の視覚的資料—1945年の写真と映像

1945年8月6日、広島に原子爆弾が投下されて以降、12月末までに撮影された、被爆の惨状を伝える写真1532点と動画2点が対象となりました。

増上寺が所蔵する三種の仏教聖典叢書

17世紀初めに徳川家康が全国から収集し、増上寺に寄進した木版印刷の仏教聖典で、現代の仏教研究の基礎になっているものです。増上寺は東京都にある浄土宗の寺です。

これらが、登録されるかどうかは2025年春ごろに明らかになります。

世界の記憶は、人々が記憶し、後世に残すべき文書や絵画・音楽など、歴史的な資料を保存することを目的としています。過去に日本国内で登録されたものとして、**慶長遣欧使節関係資料**などがあげられます。

チャレンジ問題

- 1 広島に原爆^{げんぱく}が投下された年月日を答えなさい。
- 2 増上寺^{しんげん}に特にゆかりのある人物を次から選んで、記号で答えなさい。
ア 武田信玄 イ 織田信長 ウ 豊臣秀吉^{ひでよし} エ 徳川家康

答え

- 1 1945年8月6日
- 2 エ